

## 県内で生産された米の放射能濃度検査の結果について

県内で生産された米（玄米）の放射能濃度検査について、県内を2ブロックに分け検査を実施したところ、両ブロックとも不検出との検査結果が9月14日付けで県より公表されました。

これにより、県内産米の安全性が確認されたため、県内で生産された米の出荷・販売等の自粛要請は解除されました。

農産物の種類 (採取市町村名:ブロック名)	核種別放射濃度 [Bq(ベクレル)/kg]	
	放射性ヨウ素	放射性セシウム
米(玄米) (横浜市:東ブロック)	不検出	不検出
米(玄米) (小田原市:西ブロック)	不検出	不検出

※ 平塚市・大磯町・二宮町は西ブロック

また、JA湘南が検査実施機関である(財)日本穀物検定協会により実施した学校給食用米の自主検査においても、放射性物質は検出されませんでした。

	放射性ヨウ素 (I131)	放射性セシウム (Cs134)	放射性セシウム (Cs137)
平塚市産	不検出	不検出	不検出

今回の検査結果により、JA湘南管内産の米の安全性が確認されたため、平成23年産米の集荷を予定どおり実施します。

湘南農業協同組合